JAKEHS2016 年度第 2 回東モイム

日時:2016.9.25(日)10:00～13:00　於:株式会社インジェスター会議室(市ヶ谷)

司会:呉文淑　　書記:齋藤盛午

参加者:9 名(敬称略、順不同)

齋藤盛午(立教池袋高校)

石黒みのり(青梅総合高等学校、小平高等学校)

山下誠(鶴見総合高校)

田附和久(神田女学園高等学校)

金明華(八千代松陰中学高等学校)

呉文淑(啓明学園高等学校)

倉島礼子(町田総合、世田谷総合、桜修館中等教育学校、日本外国語専門学校)

中野敦(国際文化フォーラム)

兪皓善(東京韓国教育院長)

議題:

1. 授業報告(石黒みのり先生)

2. 参加者全員の授業・活動報告

3. 11 月 26 日～27 日広島全国研修に向けた準備

0. 初めに今年の 3 月より南貞順先生の後を受け東京韓国教育院長に就任され、今回初めて東モイムに参加された兪皓善院長よりご挨拶をいただきました。

・韓国教育院は在日韓国人たちの母国語教育及び日本の方々の韓国語教育を支援することを使命としている。

・中高生を対象とした韓国文化出張授業を行っているので、どんどん要請してほしい。

・JAKEHS の活動も引き続き積極的に支援するつもり。東京在住・在勤のメンバーの広島全国研修への交通費・宿泊費なども可能な範囲で支援する。それぞれの教師が授業で必要な教材などがあれば申請すれば支援する。

1. 授業報告(石黒みのり先生)

1)-教育実習成果報告-

英語科教育実習の内容とそれを韓国語の授業に応用した経験について

-教育実習先

・期間（2016 年5月 23 日～6月 10 日（3週間）

・実習校（八王子市立浅川中学校）

・教科（英語科）

-内容

・教育実習先紹介

・授業形態

・研究授業

・韓国語学習への応用

・教育実習を終えて

-授業形態

・担当学年（2 年生・3 年生）

・使用教科書（TOTAL ENGLISH 2,3）

・少人数制

・ティーム・ティーチング

-授業プラン（例）

①宿題確認

②復習（小テスト、辞書タイム、ビンゴ等）

③教科書本文／文法

※ALT が入る場合は授業内容が変更される

-研究授業

・教材観（単元観・指導目標）

物や人の存在を表す表現を理解、適切な使用

物の位置を正しく伝えることができる

・生徒観

2A と2B の出席蛮行後半の生徒が一緒のクラス

・単元名

「どこに何がある？」

・文法

There is(are)～

Is(Are) there～？

・指導に当たって

(1)授業形態　：　グループワーク

(2)指導方法　：　英作文

(3)教材の工夫

文法説明→図

前置詞の学習→人形

表現活動→写真・ホワイトボードシート

・指導の流れ

①挨拶

②文法説明

③表現活動

写真を見ながら例文作成

例文の数をグループ別に競う

(3分間×2セット)

④まとめ

⑤挨拶

-教育実習を終えて

・英語教育は進んでいる

・授業参観で多くのヒントを得た

少人数の授業運営方法

レベルに合わせた内容

・今後も韓国語教育に応用予定

-教育実習後の韓国語教育への応用(小平)

・存在詞　있다/없다の学習に引用

・使用教科書

『チャレンジ！韓国語』(白水社)

第6課「時間ありますか？」(시간 있어요?)
・있어요を使った例文の数を競い、作成した文章を発表

2)質疑応答
Q:生徒たちはどんな例文を作ったのか。
A:”책상 위에 컴퓨터가 있어요.” 等等
Q:他の好事例の応用について知りたい。
A:・Dictionary Time を青梅で導入(英語では10word だったが韓国語は3語)
・ALT とのロールプレイングを小平で応用(絵をかいてショッピングのときに使う表現の学習)
Q:韓国語の生徒たちのレベルは？
A:4 月から学習開始。発話は質問には大体答えられる水準。おぼつかないながらも文字は大体読める。
Q:できない生徒へのフォローアップは？
A:できる生徒の中にできない生徒をまぜたり、少人数でグループワークをさせ、アクティブラーニングを行う。アクティブラーニングは効果があり、重要性を感じる。

2. 参加者全員の授業・活動報告

①齋藤盛午先生
「ソウルで韓国の中高生とダンス・ダンス・ダンス」引率報告(パワーポイント／写真付き)
プログラム概要
企画・主催:(公財)国際文化フォーラム・(財)秀林文化財団
期間:2016 年 8 月 3 日(水)～8 月 8 日(月)
参加者:韓国語を学ぶ日本の中高生 18 名と日本語を学ぶ韓国の中高生 18 名
内容:K-POP 等のダンスをテーマにした交流プログラム、韓国ソウルで 5 日間一緒に生活しながら、日韓混合チームに分かれて、ダンスの練習をしながら買物に行ったり一緒に料理を作ったり、活動を通じて交流する。
(感想)3つの目的を掲げ、その目的を達成できるようによく組まれたプログラムである。

②金明華先生
・韓国文化研究部という必須部活どうとしての活動
梅雨や秋夕など、季節に合わせたテーマで授業

夏休みの課題は、好きなアーティストについて韓国語で文章を書いて発表させた。

③中野敦さん
-日韓校長交流について(8 月 6 日～8 月 9 日、3 泊 4 日)
・日本各地の校長11名が参加
・(日程)徳沼高等学校訪問、ソウル探訪、ダンスダンスダンス発表会参加、日本人留学生との交流、東国大学訪問、日韓校長・教師交流会
-今後の予定
JENESYS が韓国の校長招聘(11月23日～12月1日)
(日韓校長交流に参加したほとんどの校長が来日予定)
これらのプログラムを通して学校間交流につながるなど成果が出ている。「大人の交流」も大事。今後は校長だけでなく、それを支える教職員、PTA などにも交流拡大させてもらいたい。

④田附和久先生
・7月に韓国の高校生34名の受入れを行った。(3回目)
夏休みの訪問だったため準備が大変だったが、自由参加の交流会に多くの生徒が参加し、学習意欲の向上につながった。
・学校から TJF の校長交流に参加、姉妹校締結につながった。授業にもよい影響が出るだろう。
・来週文化祭。韓国教育院の協力のもと、衣装体験実施。夏休み宿題の「韓国映画レポート」展示。

⑤山下誠先生
-授業について
・文字の学習は最初の2回の授業(5月前半まで)で終了
それ以降はコミュニケーション中心
・年末に韓国との相互訪問を実施。ビデオレターなど、それに向けた授業を進めている。
・来週から山川みなみさん(目白大学外国語学部韓国語学科 4 年)を韓国語の教育実習生として3週間受け入れる。
-韓国との交流
・高校生受入れ
夏休み中だったので部活体験中心

・日韓校長交流に参加
・韓日研の全国大会に参加
・韓国の日本語教師と日本の韓国語教師の交流が重要。互いに刺激受けるはず。

⑥倉島礼子先生
・桜修館
　韓国教育院の支援で K-pop 体験がきっかけで一度なくなった韓国との授業が復活。
・町田総合
　韓国の大学への志望者有り。それほどレベルの高い学校ではないにもかかわらず、目白大学への AO 入試合格者が出た。
・世田谷総合
　29 名の大規模クラス
　韓国への進学者もあり

⑦呉文淑
9 月 30 日～10 月 1 日の学園祭に向けた準備
・第二外国語学習発表の部屋がある。
　コリア語、中国語、フランス語の学習内容を展示物とスピーチコンテストを通じて学園内外に紹介する。
　コリア語では毎年
　2 年生（入門）夏休みの間に身の回りのハングルの写真を撮ってきて、翻訳、説明などする掲示物を作ってパネルに貼る。
　3 年生はビデオを作って学習成果を発表。昨年はコントと韓国の歌、今年は K-pop ダンス。

3．11 月 26 日～27 日広島全国研修に向けた準備（進行：倉島先生）

-第1セッション　広島の韓国と教育の実情（西がメインで準備）
-第2セッション　授業実践報告（ICT を活用した授業を中心に）
　東からは澤邊裕子先生（宮城学院中学校高等学校）のスカイプを使った韓国との交流授業を中心に授業報告を山下先生を通じてお願いしご承諾いただく。
　石黒先生の英語教育の技術を韓国語教育へ応用する授業も発表したらとの意見。
-第3セッション「高校での韓国朝鮮語の学びと進路実現」

話し合われた内容
・アンケートの目的と結果の利用目的をはっきりさせるべき
・韓国の大学への進学希望者に情報を与えたい。アーエデュケーション（株）の竹内じゅんさんにアナウンスの場を提供しよう。
・センター入試に関する情報がほしい。センター入試における韓国語指導を話題に取り上げたら。
　入試制度の改革が 4 年後に控えていることも視野に入れるべき。
・JENESYS が招聘する校長先生方が JAKEHS 全国研修の様子を見に行く予定。研修会・懇親会にも参加してもらいたい。
・役割分担
・全国研修申込期限（11月 8 日）

次回モイムは来年 2 月を予定。
場所は兪皓善院長のご厚意により、東京韓国教育院でできることになりました。